

くもの巣の研究

熊本市立田底小学校 5年 田中 来斗・高田 桜・山下 鳳介

1 研究の動機

学校の帰り道にたくさんのくもの巣を見かけた。よく見ると大きな巣、小さな巣などいろいろあるようだった。そこで、くもの巣について調べてみようと思った。

2 研究の内容(方法)、結果及び考察

(1) 学校の周りで、どんなところにくもの巣があるのか調べる。

校舎周辺のいたるところにくもの巣があった。植えてある樹木(枝)、建物や電線などに、巣をつくっていた。全部で 33 の巣を見つけた。

(2) どれくらいの高さに巣をつくっているか調べる。

1～3mの間に巣をつくっていることが多かった。

(3) くもは何をしているかを調べる。(動き・向き)

じっとしていて、下向きのくもが多かった。下向きのくも多いのは、くもの巣をいつでもつくりやすいように下を向いていると考えた。

(4) 何種類、また何匹のくもがいるか調べる。

くもは全部で 54 ひきいた。黒、黄、(赤)のジョロウグモが一番多かった。大きさでは、1～2cmのくもが多かった。

(5) どんな形の巣があるのか調べる。

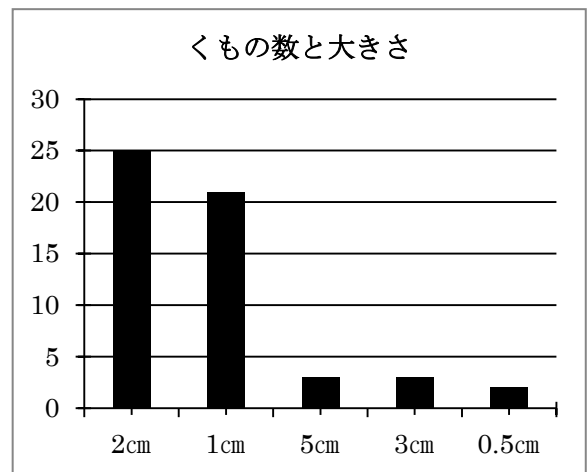
ジョロウグモは、おおまかな形(数)として「6 角形(11)」「複雑な形(15)」「3 角形(2)」「長方形(1)」「5 角形(1)」の巣をつくっていた。

巣(糸)をさわってみるとべたべたして指にくっつく糸とくっつかない糸があった。

(6) くもの巣の強さを調べる。(・1 円玉を何枚ぶら下げることができるのか・水にどれくらい強いのか)

ア 重さに対する強さ調べでは、1 円玉を 36 枚も下げることができ、かなりの重さに耐えられる強さがあることがわかった。

イ 水に対する強さ調べでは、水によって糸が切れたり、巣がくずれたりすることはなかった。雨にぬれるところに巣をつくっていることから、巣は水に対してかなり強いことがわかった。



3 研究のまとめ

今回、くもの巣の研究をして、くもの巣の強さや巣をつくる場所などいろいろなことがわかった。中でも、くっつく糸とくっつかない糸があることにおどろいた。今後、その理由やその他のくも(校舎 2、3 階にいたくも)や巣についても調べてみたいと思った。